

採点表

別添1

満点84点、最低点36点

審査対象書類	チェック項目		審査の視点	採点				備考
				加点	妥当	不可ではない	不可	
事業計画書	事業内容について	計画策定や調査対象	当該対象がエネルギー起源CO2の排出に係るものであるか。	—	—	○	×	
		事業実施の蓋然性	事業実施後、設備導入に移行できる見込みがあるか。	—	5	3	0	
		調査検討対象の明確さ	事業化計画・FS調査の内容が明確であるか。	—	5	3	0	
		課題設定の適切さ	事業実施後の設備導入、里地里山等保全計画検討に向けた課題設定が適切であるか。	3	5	3	0	
		普及性、削減の確実性	当該設備が普及段階にあり、設備的にCO2削減が確実に見込めるか。	—	5	3	0	
	生物多様性保全効果について	里地里山への該当	保全対象となる自然環境が里地里山等といえるか。	—	—	○	×	
		生物多様性保全効果の有無	事業実施が生物多様性の保全につながるか。	—	—	○	×	
		生物多様性保全に係る計画の妥当性	保全対象が明確であり、適切な手法を用いた具体的な活動計画となっているか。	3	5	3	0	
	実施体制等について	体制	進捗管理、経理、書類作成など、事業を確実に遂行できる実施体制となっているか。	—	5	3	0	
		地方公共団体との連携	地方公共団体との連携体制が構築されている、または構築される見込みがあるか。	—	—	○	×	申請者が地方公共団体以外の場合
		生物多様性保全の体制	生物多様性の保全が確実になされる体制となっているか。	3	5	3	0	
	副次的効果について	副次的効果	CO2削減・生物多様性保全効果以外の副次的効果が見込まれるか。	3	5	3	0	
事業実施スケジュールについて	事業実施スケジュール	スケジュールが明確に示され、スケジュール管理が適切か。	—	—	○	×		
自治体推薦書／プロジェクト概要書	現状分析について	域内のCO2排出量分析	域内の排出量に係る分析が適切になされており、事業実施の必要性があるか。	—	5	3	0	
	実行計画等への位置づけについて	実行計画等への位置づけ	位置づけ済み:5 予定(3年以内):3	—	5	3	0	
		普及の確実性	支援対象事業を域内に拡げる姿勢があるか。	3	5	3	0	
	副次的効果について	副次的効果	CO2削減・生物多様性保全効果以外の副次的効果が見込まれるか。(地域の経済・コミュニティの活性化等)	3	5	3	0	
その他	国のモデルとしての位置づけについて	環境モデル都市等への選定状況	環境モデル都市等の政府の事業で選定されており、集中支援の必要性が高いか。	3	—	—	—	
		対象地の自然環境の重要性	活動対象が、希少種の保護や自然公園、鳥獣保護区等の保護すべき自然環境の保全に係るものか。	3	—	—	—	